

平成30年3月
京都市立宇多野小学校
校長 和田 夕美子

平成30年度 後期学校評価アンケート結果のご報告

今年度も、児童、保護者、教職員の三者で学校アンケートを実施しました。保護者の皆様には、お忙しい中、アンケートのご協力をいただきありがとうございました。

また、3月7日の学校運営評価委員会でも貴重なご意見をいただきました。今以上に学校が地域や家庭と協力し、今後の取組に生かしてよりよい学校づくりを目指していきます。

(1) 「確かな学力」の育成に向けて 『学力向上プラン』

重点目標 学ぼうとする意欲や生涯にわたって学び続ける力を身につける。

学校評価アンケート結果（出来ている割合を表示）

- ①授業はわかりやすいですか。児童97.4% 保護者88.9% 教職員70.8%
- ②授業で話し合うことは楽しいですか。児童89.2% 保護者85.8% 教職員70.8%
- ③授業で、「めあて」を確かめ、「振り返り」を行っていますか。
児童95.7% 保護者69.3% 教職員87.5%
- ④自分から進んで家庭学習をしていますか。児童71.1% 保護者61.7% 教職員45.8%
- ⑤学習ノートを見やすく書いていますか。児童87.7% 保護者74.8% 教職員62.5%
- ⑥学習に図書や資料を使っていますか。児童87.2% 保護者60.4% 教職員56.5%

分析（成果と課題）

①②については児童の指数が前回とほぼ同様の指数となり、児童がわかりやすく、話し合うことを楽しく思える授業になっていると感じていることがわかります。また、③についてもしっかりとめあてとふり返りができる授業になっている結果だと考えられます。④の家庭学習については前回よりも若干指数が上がったが、教職員の指数は前回を大きく下回る結果となりました。

分析を踏まえた取組の改善

①②③については、授業の中で大切にしたいことを本校の教員が全員意識できている表れだと考えられます。引き続き校内研究授業や若手教員の研修などで教員の授業力アップを図り、子どもたちに確かな学力をつけていきたいと思います。④については引き続き「自主学習のススメ」などを活用した取組を進めていきたい。⑤についてはノート検定などを定期的に実施することで、子どもたち自身がわかりやすいノート作りを意識できるようにしていきたい。⑥については児童の指数は高いが、教職員の指数は50%台となっている。授業の中での効果的な活用方法について活用事例を共有するなどして取り組んでいきたい。

重点目標の達成状況、次年度の課題

ジョイントプログラムや学校評価アンケートの結果を見る限りでは、概ね重点目標は達成できていると考えられる。しかし、家庭学習について、改善は見られたものの児童の指数が70%台にとどまっていることから、課題が残る結果となっている。次年度は毎週のお便りに自主学習を自分で記入する欄を設けるなどして自ら学ぼうとする意欲の向上に向けて、取り組んでいきたい。

学校運営協議会で出た意見

概ね良好な結果である。学校の地道な努力が実を結んでいる。引き続き学力向上に取り組んでほしい。

(2) 「豊かな心」の育成に向けて

重点目標 道徳教育の充実や規範意識の育成を図り、支えあい高め合う集団づくり・絆づくりの推進

学校評価アンケート結果（出来ている割合を表示）

- ①周りの人から、大切にされていますか。児童94.6% 保護者95.7% 教職員91.7%
- ②地域の行事に進んで参加していますか。児童75.8% 保護者80.7% 教職員58.3%
- ③学校のきまりや社会のルールを守っていますか。
児童96.7% 保護者91.1% 教職員91.7%
- ④自分からあいさつができますか。 児童91.3% 保護者73.6% 教職員62.5%
- ⑤読書の習慣がみについていますか。 児童83.6% 保護者61.8% 教職員83.3%
- ⑥他の人を思いやり、親切にすることができますか。
児童96.0% 保護者85.4% 教職員96.0%
- ⑦ものを大切にしていますか。 児童96.0% 保護者73.9% 教職員56.0%

分析（成果と課題）

全体的に前回と比べて大きな変化は見られない。児童が概ね安全にかつ楽しく学校生活を送ることができるものと考えられます。②については、児童・保護者の指数が上がっています。後期は地域の祭りや行事が多くあることから、参加していると感じている児童が増えたのではないかでしょうか。逆に教職員の指数に若干の落ち込みが見られるが多くの地域行事が休日に行われていることから、参加している場面が見られなかつたことからと考えられます。③については教職員の指数に改善が見られた。これは児童が大きな問題もなくルールを守って楽しく学校生活を送っていると感じられたからでしょう。⑦については児童の指数が上がっているにも関わらず教職員の指数に落ち込みが見られる。児童は大切にしていると感じているが、学校内の落とし物などを見ると以前より減っておらず、このような結果となつたと考えられます。

分析を踏まえた取組の改善

分析の結果、概ね良好な状況と考えられます。今後も学校での取り組みをホームページや学校だより、授業参観・懇談会などを通してわかりやすくお知らせしていきたいと考えています。

学校運営協議会で出た意見

急速に複雑な世の中になつてきている。学校だけでできないこともあると同時に家庭だけでもできないことがある。いろいろな機関と連携して子どもたちに豊かな心を育んでほしい。自然体験など子どもたちが熱中できるものがある。学校での貴重な体験を精選して取り組んでほしい。

また、「いつもありがとうございます。」とあいさつをしてくれた子がおり、学校や家庭の教育のたまものと感じた。そういう子もいるので学校の取組の積み重ねが実るように支援していきたい。

(3) 「健やかな体」の育成に向けて

重点目標 運動やスポーツの実践と体力の向上、健康的な生活を送る子の育成

学校評価アンケート結果（出来ている割合を表示）

- ①睡眠時間が8時間以上とれていますか。 児童83.9% 保護者90.4% 教職員72.7%
- ②毎日朝ごはんを食べていますか。 児童97.7% 保護者93.8% 教職員87.0%
- ③安全に集団登校できていますか。 児童96.6% 保護者91.0% 教職員80.0%
- ④安全に下校できていますか。 児童94.6% 保護者79.1% 教職員79.2%
- ⑤外遊びやスポーツなどで毎日体を動かしていますか。
児童87.7% 保護者73.0% 教職員76.0%
- ⑥テレビを見たり、ゲームをしたりする時間を決めていますか。
児童69.5% 保護者57.1% 教職員39.1%

分析（成果と課題）

③の集団登校については児童の指数に改善が見られます。実際この一年間大きな事故もなく安全に登校できています。しかし、集団登校の中で、子どもたち同士のトラブルなどは少し見られたこともあり、教職員の指数が前回より下がったと思われます。また、④の下校についても大きな事故はありませんが、下校途中の下り坂で転倒して怪我をした事例もあり教職員の指数には落ち込みが見られます。

大きな課題は⑥の結果である。特にネットを利用したゲームが子どもたちの基本的な生活習慣に影響を及ぼしています。保護者の中には、危機感を感じている方もおり、早急に対策を取っていきたいと考えています。

分析を踏まえた取組の改善

毎日の健康観察や保健教育を充実させ、基本的な生活習慣の大切さが子どもたちに身につくように今後も引き続き子どもたちに働きかけていきたい。スマホやネットゲームなどについては、緊急的に全校集会を開き依存症などの恐ろしさを保護者にも参観を促して周知するようにしました。引き続き保護者とも連携し改善を図っていきたいと考えています。

重点目標の達成状況、次年度の課題

運動やスポーツの実践と体力の向上にはたてわり遊びや業間マラソン、委員会の取組などで概ね達成できている状況にあると考えられる。しかし、健康的な生活習慣をおくことについては児童の意識向上などに改善の余地が見られる。次年度は授業参観なども活用してスマホ・ケータイ教室や情報モラルの授業、保健学習を公開し家庭との連携を図っていきたい。

学校運営協議会で出た意見

昔と比べて精神的な不安を抱える子どもが増えてきている。ゲームの中では簡単に人を殺すようなものもある。小さな子にそのようなゲームをさせると命を大切にしようとする心が育っていない。ゲーム依存については、他校の良い事例なども参考にして取り組んでほしい。スポーツをすることは精神のリフレッシュにもつながるので学校の取組は継続してほしい。